

事業報告書  
(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

## 1 医療法人の概要

(1) 名称

医療法人永寿会

- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)  
 ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人  
☐ 出資額限度法人 ☒ その他  
 ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

(2) 事務所の所在地

主たる事務所 福岡県福岡市西区今津3810番地  
 従たる事務所 東京都八王子市西寺方町105番地

(3) 設立許可年月日

昭和56年 7月27日

(4) 設立登記年月日

昭和56年 8月 6日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理事長	齋藤 秀樹	
専務理事	齋藤 薫	
理 事	品川 裕治	シーサイド病院管理者、シーサイド病院介護医療院管理者
同	堤 祐一郎	恩方病院管理者
同	田中 裕之	陵北病院管理者、介護医療院陵北病院管理者
同	長沼 英俊	川添記念病院管理者
同	田口 洋	介護老人保健施設ゆうむ管理者
同	齋藤 晃樹	
同	齋藤 侑輝	
監 事	榎戸 敏文	

## 2 事業の概要

(1) 本来業務(開設する病院、診療所又は介護老人保健施設(医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。))の業務)

種 類	施設の名称	施設の医療機関コード 又は介護事業所番号	開設場所	許可病床数
病院	シーサイド病院	4011129808	福岡県福岡市西区 今津3810番地	一般病床 0 床 療養病床 180 床 [医療保険 180 床] [介護保険 0 床] 精神病床 0 床 感染症病床 0 床 結核病床 0 床
病院	恩方病院	1312970150	東京都八王子市西 寺方町105番地	一般病床 0 床 療養病床 85 床 [医療保険 85 床] [介護保険 0 床] 精神病床 385 床 感染症病床 0 床 結核病床 0 床
病院	陵北病院	1312970143	東京都八王子市西 寺方町315番地	一般病床 42 床 療養病床 0 床 [医療保険 0 床] [介護保険 0 床] 精神病床 0 床 感染症病床 0 床

病院	川添記念病院	4011018845	福岡県福岡市西区 今津4760番地	結核病床 0 床 一般病床 0 床 療養病床 0 床 [医療保険 0 床] [介護保険 0 床] 精神病床 300 床 感染症病床 0 床 結核病床 0 床
介護医療院	シーサイド病院介護医療院	40B1200011	福岡県福岡市西区 今津3810番地	入所定員 233 名
介護医療院	介護医療院陵北病院	13B2900018	東京都八王子市西 寺方町315番地	入所定員 369 名
介護老人 保健施設	ゆうむ	1357080237	東京都八王子市西 寺方町284番地	入所定員 100 名 通所定員 35 名

## (2)付帯業務

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
認知症対応型共同生活介護事業 認知症対応型通所介護事業 グループホームシーサイド	福岡県福岡市西区今津3810番地	
居宅介護支援事業 ケアプランサービスシーサイド	福岡県福岡市西区今津3810番地	
訪問看護事業 介護予防訪問看護事業 訪問看護ステーションりょうほく	東京都八王子市西寺方町315番地	
地域包括支援事業 八王子市地域包括支援センター旭町 【八王子市から委託を受けて管理】	東京都八王子市旭町8番10号 比留間ビル3階	

## (3)収益業務

該当なし

## (4)当該会計年度内に社員総会又は評議委員会で議決又は同意した事項

令和6年4月1日 ・ 役員報酬の決定  
令和6年5月28日 ・ 理事 監事の再任  
令和6年6月18日 ・ 令和5年度決算の承認  
令和7年2月21日 ・ 恩方病院管理者の交代  
令和7年3月18日 ・ 令和7年度事業計画及び収支予算の決定

## (5)当該会計年度内に発行した医療機関債

該当なし

## (6)当該会計年度内に購入した医療機関債

該当なし

## (7)当該会計年度内に開設(許可)した主要な施設

該当なし

## (8)当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

該当なし

## (9)その他

・川添記念病院 許可病床310床→300床  
・陵北病院事務長就任  
・川添記念病院看護部長交代

様式第三号

法人名 医療法人 永寿会  
所在地 福岡県福岡市西区今津3810番地

※医療法人整理番号

財 産 目 録  
(令和 7年 3月31日現在)

1. 資 産 額	13,441,760 千円
2. 負 債 額	2,868,948 千円
3. 純 資 産 額	10,572,812 千円

(内 訳)		(単位: 千円)
区 分		金 額
A 流 動 資 産		5,515,812
B 固 定 資 産		7,925,947
C 資 産 合 計 (A + B)		13,441,760
D 負 債 合 計		2,868,948
E 純 資 産 (C - D)		10,572,812

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。	
土 地	(□法人所有□賃借■部分的に法人所有 (部分的に賃借) )
建 物	(□法人所有□賃借■部分的に法人所有 (部分的に賃借) )

法人名 医療法人 永寿会  
所在地 福岡県福岡市西区今津3810番地

※医療法人整理番号 00141

貸借対照表

令和7年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
I 流動資産	5,515,812	I 流動負債	1,280,309
現金及び預金	3,584,564	買掛金	60,945
医療未収金	1,827,436	短期借入金	40,000
未収金	53,744	未払費用	693,878
前払費用	33,068	賞与引当金	314,770
その他の流動資産	28,671	未払法人税等	8,380
貸倒引当金	△ 11,672	その他の流動負債	162,335
II 固定資産	7,925,947	II 固定負債	1,588,638
1 有形固定資産	6,710,009	長期未払金	3,678
建物	3,940,176	退職給付引当金	1,498,170
構築物	196,811	役員退職慰労引当金	12,000
医療用器械備品	47,137	預り保証金	74,789
その他の器機備品	145,286		
車両及び船舶	425		
土地	2,330,961	負債合計	2,868,948
建設仮勘定	49,210	純資産の部	
2 無形固定資産	93,793	I 出資金	46,000
ソフトウェア	88,866	II 積立金	10,525,639
その他の無形固定資産	4,927	繰越利益積立金	10,525,639
3 その他の資産	1,122,144	III 評価・換算差額等	1,172
投資有価証券	23,243	その他有価証券評価差額金	1,172
ゴルフ会員権	167,420		
保険積立金	200,000		
繰延消費税額	69,701		
貸倒懸念債権	50,563		
繰延税金資産	556,797		
その他の固定資産	104,982		
貸倒引当金	△ 50,563	純資産合計	10,572,812
資産合計	13,441,760	負債・純資産合計	13,441,760

様式第二号

法人名 医療法人 永寿会  
所在地 福岡県福岡市西区今津3810番地

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書  
(自 令和 6年 4月 1日 至 令和 7年 3月 31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		11,276,789
2 事業費用		
(1)事業費	10,443,575	
(2)本部費	643,305	11,086,880
本来業務事業利益		189,908
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		233,340
2 事業費用		267,557
附帯業務事業損失		△ 34,216
事業利益		155,691
II 事業外収益		
患者外給食収益	66,121	
不動産賃貸収入	29,438	
その他の事業外収益	85,448	181,008
III 事業外費用		
患者外給食委託費	117,867	
その他の事業外費用	927	118,794
経常利益		217,905
IV 特別利益		
国庫補助金収入	28,875	
その他の特別利益	8,127	37,002
V 特別損失		
固定資産圧縮損	37,002	
固定資産除却損	31,606	68,608
税引前当期純利益		186,299
法人税・住民税及び事業税		42,954
法人税等調整額		△ 16,224
当期純利益		159,569

法人名 医療法人 永寿会  
所在地 福岡県福岡市西区今津3810番地

※医療法人整理番号						
-----------	--	--	--	--	--	--

関係事業者との取引の状況に関する報告書

- (1) 法人である関係事業者  
該当なし
- (2) 個人である関係事業者  
該当なし

様式6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人永寿会

理事長 齋藤 秀樹 殿

私は、医療法人永寿会の 第44会計年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和7年6月24日

医療法人 永寿会

監事 榎戸敏文

所在地 福岡県福岡市西区今津 3810

					※医療法人整理番号
--	--	--	--	--	-----------

純資產變動計算書

自令和6年4月1日至令和7年3月31日 単位 千円

	出資金	積立金	評価・換算差額等	純資産の部
	出資金	繰越利益積立金	有価証券評価差額金	
令和 6 年 4 月 1 日	46,000	10,346,393	△208	10,392,184
誤謬の訂正による累積的影響額		19,676		19,676
遡及処理後当期末首残高	46,000	10,366,069	△208	10,411,860
会計年度中の変動額				
当期純損益金		159,569		159,569
その他有価証券の評価益			1,381	1,381
会計年度中の変動額合計		159,569	1,381	160,951
令和 7 年 3 月 31 日	46,000	10,525,639	1,172	10,572,812



様式第五号

法人名 医療法人 永寿会

※医療法人整理番号

所在地 福岡県福岡市西区今津3810

有形固定資産等明細表

資産の種類		前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価償却累計額又は償却累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差引 当期末残高 (千円)
有形固定資産	建物	13,010,973	193,970	112,031	13,092,912	9,152,736	268,946	3,940,176
	構築物	769,564	82,093	2,476	849,182	652,370	20,001	196,811
	医療用器械備品	312,991	23,560	25,865	310,686	263,548	26,684	47,137
	その他の器械備品	951,774	31,360	19,284	963,851	818,564	81,562	145,286
	車両及び船舶	11,603	427	370	11,661	11,235	218	425
	土地	2,282,860	48,101	—	2,330,961	—	—	2,330,961
	建設仮勘定	86,827	250,086	287,703	49,210	—	—	49,210
	計	17,426,595	629,600	447,730	17,608,465	10,898,456	397,413	6,710,009
無形固定資産	ソフトウェア	224,887	24,193	125	248,955	160,088	37,457	88,866
	その他の無形固定資産	3,481	1,445	—	4,927	—	—	4,927
	計	228,368	25,638	125	253,882	160,088	37,457	93,793

法人名 医療法人 永寿会  
所在地 福岡県福岡市西区今津3810

※医療法人整理番号				
-----------	--	--	--	--

引 当 金 明 細 表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (そ の 他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	65,395	62,236	7,110	58,285	62,236
賞与引当金	309,660	960,278	931,828	23,340	314,770
退職給付引当金	1,497,336	171,999	155,023	16,141	1,498,170
役員退職慰労引当金	20,400	1,600	—	10,000	12,000

様式第七号

法人名 医療法人 永寿会  
所在地 福岡県福岡市西区今津3810

※医療法人整理番号

借 入 金 等 明 細 表

区 分	前 期 末 残 高 (千円)	当 期 末 残 高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	50,000	40,000	0.96%	—
1年以内に返済予定の 長期借入金	39,330	—	—	—
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	—	—	—	—
合 計	89,330	40,000	—	—

(注) 1 平均利率は、期末ベースで算出した加重平均利率を記載しております。  
2 長期借入金の貸借対照表日後5年内における返済予定額は次のとおりであります。

区分	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内
長期借入金	—	—	—	—

## 様式第八号

法人名 医療法人 永寿会

※医療法人整理番号

所在地 福岡県福岡市西区今津3810

## 有 価 証 券 明 細 表

## 【債 券】

銘 柄	券 面 総 額 (千円)	貸借対照表価額 (千円)
—	—	—
計	—	—

## 【その他】

種 類 及 び 銘 柄	口 数 等	貸借対照表価額 (千円)
㈱りそなホールディングス	1,700 株	2,187
グローバル・ソブリン・オープン	36,739,429 口	21,055
計	—	23,243

様式第九の一号

法人名 医療法人 永寿会  
所在地 福岡県福岡市西区今津3810番地

※医療法人整理番号

事業費用明細表

(単位：千円)

区分	本来業務事業費用			附帯業務 事業費用	収益業務 事業費用	合計
	事業費	本部費	計			
材料費	540,762	—	540,762	8,126	—	548,888
給与費	7,211,569	327,740	7,539,310	226,792	—	7,766,103
委託費	842,980	26,683	869,663	3,796	—	873,459
経費	753,372	109,160	862,532	12,357	—	874,890
その他の事業費用	1,094,890	179,720	1,274,611	16,483	—	1,291,095
計	10,443,575	643,305	11,086,880	267,557	—	11,354,437

## 重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

### 1. 継続事業の前提に関する事項

該当事項はございません。

### 2. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のあるもの……期末日の市場価額等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

市場価格のないもの……移動平均法による原価法

#### (2) デリバティブの評価基準及び評価方法

デリバティブ……時価法

#### (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

医薬品……最終仕入原価法

貯蔵品……最終仕入原価法

### 3. 固定資産の減価償却方法

#### (1) 有形固定資産

定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）及び平成28年4月1日以降に取得した附属設備並びに構築物については定額法）を採用しております。

#### (2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

### 4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については、前々会計年度末日の負債総額が200億円未満であることから、法人税法（昭和40年法律第34号）における貸倒引当金の繰入限度相当額を計上しており、また貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。  
なお、当医療法人は、前々会計年度末日の負債総額が200億円未満であることから、簡便法による期末要支給額を退職給付債務とする方法を採用しております。

(4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上しております。

5. 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

有形固定資産に係る控除対象外消費税等は資産に計上し、5年間で均等償却を行っております。

6. その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

(1) 補助金等の会計処理方法について

固定資産を購入する目的で受け取った補助金については、受け取った会計年度に一括して収益計上しております。なお、対象となる固定資産については、固定資産を直接減額する方法によって圧縮記帳処理しております。

(2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引について

リース取引開始日が、前々会計年度末日の負債総額が200億円未満である会計年度の所有権移転外ファイナンス・リース取引については賃貸借処理によっております。

7. 重要な会計方針を変更した旨等

該当事項はございません。

8. 誤謬の訂正に関する注記

当事業年度において、前事業年度における医業収益の会計処理に誤りが判明したため、誤謬の訂正を行いました。当該誤謬の訂正による累積的影響は「純資産変動計算書」の「誤謬の訂正による累積的影響額」に記載しております。

9. 担保に供している資産

(1) 担保に供している資産

建物	925,665 千円
計	925,665 千円

(2) 担保に係る債務

短期借入金	20,000 千円
計	20,000 千円

10. 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

(1) 法人である関係事業者

該当事項はございません。

(2) 個人である関係事業者

該当事項はございません。

11. 重要な偶発債務に関する事項

該当事項はございません。

12. 重要な後発事象に関する事項

該当事項はありません。

13. その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

(1) リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産のほか、器具備品、車両等の一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

リース物件のリース料総額および未経過リース料の当期末残高

	総リース料	未経過リース料
医療用機械備品	105,150 千円	86,984 千円
その他の器機備品	149,760 千円	84,020 千円
車両及び船舶	38,457 千円	16,739 千円
ソフトウェア	11,670 千円	3,154 千円
合計	305,038 千円	190,898 千円

(2) 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

貸倒引当金	14,515 千円
賞与引当金	87,978 千円
未払費用	15,634 千円
未払事業税等	369 千円
役員退職慰労引当金	3,465 千円
退職給付引当金	432,671 千円
投資有価証券	6,798 千円
ゴルフ会員権	25,312 千円
建物減価償却超過額	17,153 千円
前払費用	4,043 千円
繰延税金資産小計	607,943 千円
評価性引当	△51,145 千円
繰延税金資産合計	556,797 千円

(3) 貸借対照表において有形固定資産から直接控除して表示した減価償却累計額 10,898,456 千円

(4) 国庫補助金等の受入れによる圧縮記帳累計額 1,857,450 千円



## 独立監査人の監査報告書

令和7年6月10日

医療法人 永寿会  
理事会 御中

有限責任アコード監査法人

東京都中央区

指定社員  
業務執行社員 公認会計士

元小出 悟

## 監査意見

当監査法人は、医療法第51条第5項の規定に基づき、医療法人永寿会の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第44会計年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重

要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上